

救急科専門医研修ネットワークプログラム

1 はじめに

本プログラムは聖隷浜松病院を中心に静岡県西部の救急施設が協力して救急医を育成するプログラムです。当院は ER, 集中治療を二本立てとした救急医療を行っています。聖隷三方原病院はドクターヘリを有し病院前救急に強い施設です。浜松医科大学は大学として様々なシミュレーション教育、災害医療、研究などに取り組んでいます。これらの施設に所属し静岡県西部の救急を支える仲間が若手医師の教育に当たります。



救急医療は医療者としての基本をなす分野です。救急医療は地域医療の要です。ぜひ我々の仲間になり一緒に救急医療に取り組んでみませんか。共に成長し、地域医療に貢献していきましょう。

プログラムリーダー 聖隷浜松病院救命救急センター副センター長・救急科部長 渥美 生弘

2 目的

緊急度、重症度を判断し、適切に対処できる救急医を養成する
地域医療に貢献できる救急医を育成する

3 目標

救急医療と医事法制

下記項目についての基礎を習得する

1. ERにおける救急外来診療（クリティカルケア・重症患者に対する診療含む）
2. ICUにおける集中治療、重症患者管理
3. 外科的・整形外科的救急手技・処置
4. 重症患者に対する救急手技・処置
5. 一般病棟における入院診療
6. 救急医療の質の評価・安全管理
7. 地域メディカルコントロール（MC）
8. 災害医療
9. 救急医療と医事法制

4 特徴

静岡県聖隷浜松病院救急科専門研修プログラムは聖隷浜松病院を基幹研修施設とし、4つの連携施設からなる研修施設群を形成しています。基幹研修施設である聖隷浜松病院はERとICUの研修が可能です。ERでは病院全体の協力の下、救急患者を断わることなく1次～3次救急の全てを受け入れています。

ほぼ全科にオンコール体制が整備され、24時間コンサルトが可能です。各専門科と連携を取りながらERでの診療に従事して頂けます。また、救急科はICUにも専従医を配置し、集中治療専門医の下で集中治療の研修を行っています。ICUでも各科の主治医と連携を取りながら重症患者の全身管理を学びます。

連携施設である聖隷三方原病院はドクターヘリを運航しドクターカーも運用しています。病院内の救急診療のみでなく病院前診療を研修することが可能です。浜松医科大学医学部附属病院では大学病院として研究へのサポートがあり、救急診療と共にリサーチマインドを醸成することが可能です。神戸市立医療センター中央市民病院は北米型の ER を展開する国内で数少ない施設の一つです。小児から高齢者まで、マイナー科も含めた ER 診療を学ぶ事が出来ます。西伊豆健育会病院は過疎地にある小規模病院ながら、熱意のある指導者の下で地域医療を学ぶ事ができます。基幹施設を始めとした多様な連携施設での研修を組み合わせ、専攻医のみなさんが地域や社会に望まれる救急医となれるよう支援しております。また、各施設の指導医や専門医を始め、コメディカルも含めたスタッフは豊富な症例経験の元、専攻医のみなさんが救急医としての研修が充実したものとなるよう、サポート致します。

また西部地域で3施設（聖隷浜松病院、聖隷三方原病院、浜松医科大学医学部附属病院）がそれぞれに独自性を持った基幹プログラムを策定していますが、各施設が各プログラムの連携施設としても参画することで、静岡県西部地域、ひいては静岡県全体から全国を活躍の場とできる救急医療の担い手を育成することを目的としています。相互のプログラムが切磋琢磨し、また協力しあいながら教育が実施できるような体制がとられています。

5 研修カリキュラム

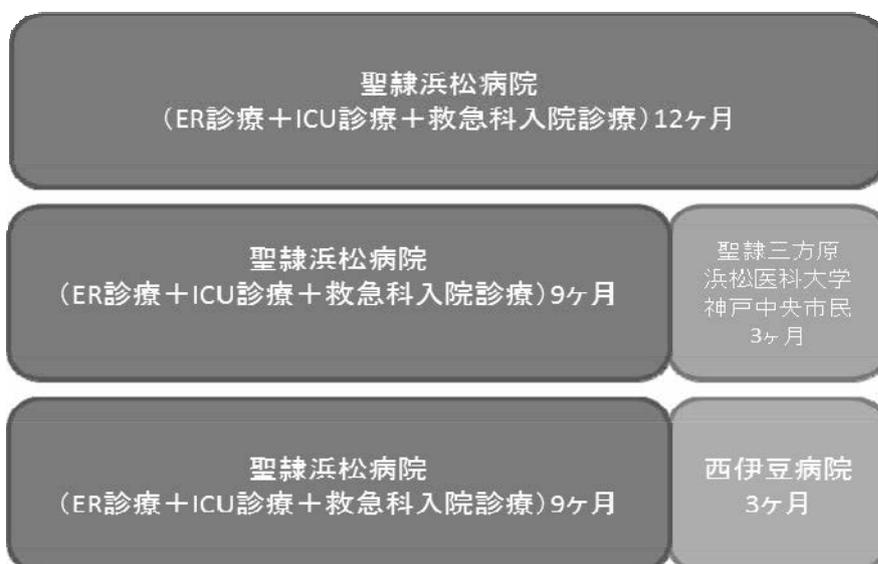
研修期間は3年とする。

3年のうち3か月以上は地域医療研修として西伊豆健和会病院での研修を必修とする。

希望に応じて、聖隷三方原病院、浜松医科大学、神戸市立医療センター中央市民病院での研修を行う。

6 研修例

研修スケジュールの例を下記に示す。



7 研修病院群

聖隷浜松病院、聖隷三方原病院、浜松医科大学、西伊豆健育会病院、神戸市立医療センター中央市民病院